

会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市立中学校給食検討委員会(第4回)				
事務局 (担当課)		学校保健課 電話042-769-8283(直通)				
開催日時		平成26年1月17日(金) 午後2時~4時10分				
開催場所		相模原市役所第2別館 5階 教育委員会室				
出席者	委員	12人(別紙のとおり)				
	その他	0人				
	事務局	3人(学校保健課長、他2人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	5人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開会 2 あいさつ 3 議題 (1) アンケート結果について (2) その他 4 閉会				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(は委員の発言、 は事務局の発言)

1 開会

2 あいさつ

吉岡会長あいさつ

3 議題

(1) アンケート結果について

資料1から資料5に基づき、事務局より説明を行い、質疑を行った。

アンケートの集計方法について、起床時間が男女になっているが、学年別にした方がもっと具体的に分かるのではないか。職員の味付けなどは、男女別でなくてもいいのでは。

学校で保護者への試食会を行っているが、試食された保護者と他の設問との関係を見ることができるのか。

試食した保護者と試食していない保護者の区分による違いは見ることができる。ただし、親子関係の対応は、無記名なのでできない。いろいろな項目でのクロス集計は可能である。

具体的に何ができるのか、どこから改善したらいいのか、どのようにすれば食べている人が満足できるのか、各委員の方から意見をいただきたい。

生徒は全体で20%程度しか満足していない。これを100%にするのは難しい。デリバリー給食の内容を変えなければならないのではないか。生徒の満足度が低いということは、何かを変えなければならない。

マイナス要素を消していくことが大事ではないか。そうした中で、異物混入はゼロにしてほしい。コンビニエンスストアでも異物混入は、少ないだろう。給食を製造する側の問題でもある。

小学校給食を食べていて、その印象のまま中学校に入学している。

好きな献立がたくさん挙がっているので、その中からできるものはないのか。子どもがおいしく感じていたものが、中学校給食に取り入れることができればよい。

何かひとつのものをとっても、全員が満足することは少ない。家庭の食卓で出てきているものが、給食にも出てくればおいしく感じるのでは。家庭で食べたことがないものは、おいしく感じないのではないか。

子どもにとっては、栄養バランスがいい給食なので、プラスになっていると思う。バランスが摂れているということを生徒に理解してもらえば、今後本人にもプラスになる。

中学校給食導入以前は、パンだけという子どもも多かった。他市では給食があってバランスよく食べていた。本市の生徒とも体格の違いを感じていた。今はいい方向に向いているのではないか。

給食に関しては、温かいものがほしい、給食が冷たいという生徒からの苦情が多い。

給食のおかずがいつごろ出来上がっているのか。家庭からの弁当の中身と給食の中身が同じでも家庭からの方がおいしく見えてしまう。給食の容器は、おかずを詰めても空間があるので、容器のせいでおいしく見えないということもある。

汁物ができるようになるのなら、給食を薦める手段の一つになるのでは。

市販の弁当は、給食のカロリーよりも低いこともある。

調理の開始時間については、設問の仕方がよくなかった。事務局でもう少し業者に確認してほしい。

横浜市では、当日の朝4種類のメニューから弁当を注文して頼むことができた。約2割の生徒が利用していた。給食も選ぶことができたらいいいと思う。

給食時間が短いことも気になる。ゆっくり時間をかけてよく噛んで食べたい子どももいる。

ご飯の大小が選択できれば、違うのではないか。残食もなくなる。

予約についても、当日給食を注文することができるようになればよい。

保護者は、試食している人が少ない。小学校の卒業前や授業参観などで、試食の機会があると良い。

ごみの分別ができていないようなので、学校現場でしっかりと生徒に伝えていただきたい。子どもの好きなメニューには、スープ類も多い。やはり温かいものがほしい。

ご飯の量に対して、おかずが少なく感じてしまう。小学校でも量は変わらないが、容器が小さなものになっている。

コンビニエンスストアでも異物混入は年に数回あるが、給食で異物混入の回数が多いということは、危険性もあるので、業者には十分注意して調理していただきたい。

お弁当は夏が心配である。保冷バックに入れているのでご飯も冷たくなっている。冷凍食品でも自然解凍のものがあるので、活用している。先入観で、給食は冷たいと思っているので、温かいものがあれば少し違うのではないか。

毎日給食を頼んでいる。栄養バランスを考えて毎日お弁当を作るのは負担になっているので、給食は助かっている。

中学生は体も作る時期であるが、3年生の女子では食べなくなってきている。食べる量と必要としているカロリーが子どもによっても違っている。ご飯の量を選ぶことができれば、選択肢が増え、いいのではないか。

コンビニエンスストアの弁当は温めてくれる。保温庫など温める事ができたらいいのではないか。

これからの母親は、仕事をやめない時代になってくる。母親一人で完璧なものを求めることは難しい。女性の就業をサポートする意味でも今の制度は続けてほしい。

試食会は、PTA主催が多い。PTAによってもバラツキがあるので、行政で先生・学校に負担にならないようにやってほしい。たくさんの保護者に試食してほしい。

業者に今回のアンケート結果を見せてあげてもいいのではないか。

異物混入は、一般の会社であるなら契約の解除になるのではないかと。業者には、すぐに解約されることがないという気持ちがあるのではないかと。異物混入には十分注意していただきたい。

冷たいから、味が薄いからなど、トータルでおいしくないと感じている。冷たいときと温かいときでは、塩分の感じ方が違うのではないかと。もしかしたら味が薄いと感ずるのは冷たいからではないかと。

デリバリー給食以前は、弁当業者が中学校に来ていた。子どもは好きな弁当が食べられたが、デリバリーもあって弁当も当日買える方法も並行してあったらどうか。

試食会は、入学してから実施されているが、子どもからおいしくないと聞くと参加しなくなる。入学する前の人に声をかけて実施した方がよい。6年生の保護者と学校と相談して、試食してもらえば喫食率も上がるのではないかと。

試食会では、9割の保護者が子どもから聞いていたよりおいしかったという評価をいただいている。

今の中学校給食は、給食ではなく弁当だと思う。給食とはどういうものであるのかをもっと保護者、生徒に伝えてほしい。

試食会は、中学校に行かないとできない。小学校で実施できれば先生の負担も減るのではないかと。中学校入学前に試食会を実施することが必要である。

おかずの容器が大きいので、小さくすれば見た目も違ってくる。ご飯も量が選べるとよい。残食が出るのはもったいない。

アンケート結果では、食缶方式も不可能ではないように思える。

今回のアンケートについては、科学的に判断したい。給食に対する過大な期待がある。事実に基づいて客観的に評価していきたい。

基本は家庭の食生活があり、学校給食はそれを手伝えるものである。

学校給食は、すべてが食材費に充てられている。市販の場合は原価率などもあり、すべて充てられるということはない。学校給食は、質の高い食材になっているので、もっと理解していただけるとよい。

城山学校給食センターで試食したときの容器がよかった。デリバリー給食も同じような食器なら違うのではないかと。食事は目で食べるので同じ内容のものでも違ってくる。

自由記述部分を含めて分析していく必要がある。

満足度を上げていき、マイナス要因を減らしていく。異物混入にしても企業努力が必要である。市ができること、学校ができること、保護者ができること、生徒ができること、業者ができること、それぞれあると思えるので、表で整理していただけると助かる。改善策一覧を作成してほしい。

試食会でも栄養士が中心に6年生の説明会などで、小学校とは違うことを十分伝える必要がある。保護者にも食育する機会を設けることも必要である。

温かいものを提供することが、何とかできないものか。モデル校でやるなど、ここを工夫すればできるなど、意見の整理を行っていただきたい。

ご飯の量の選択制、容器の問題、温かい汁物の提供、入学説明会での試食など、課題はあるので、次回に向けて下部組織の調査研究部会で今回いただいた意見を基に検討していきたい。その結果を次回の検討委員会に諮らせていただきたい。

3月まで委嘱をお願いしているが、あと数回検討委員会を開催させていただく必要がある。規則改正をさせていただき、26年度も引き続き継続で委員をお願いしたい。

卒業してしまう生徒の保護者の方もいるので、事務局で各団体と調整させていただきたい。ただし、市PTAも在学する保護者ではなく、推薦されたものと規約ではなっている。

26年度も継続していただき、何か変えていく方向でやっていきたい。

(2) その他

議題については、特になし。

入学前の試食会については、小学校で開催すること、土曜日や日曜日の開催は難しい。普段、中学校にも試食会を行う会場はないが、3年生が卒業した後、空き教室で6年生の保護者に来ていただき、試食会をやっている学校がある。

3月24日まで給食があるので、限られた期間であるが、できなくはない。

小学校のPTAから相談があり、中学校で試食会を開催しているところもあるので、市に相談があれば、学校への橋渡しもできる。

4 閉会

以上

相模原市立中学校給食検討委員会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	吉岡 有紀子	相模女子大学栄養科学部	会 長	出席
2	伊与 亨	北里大学医療衛生学部		出席
3	小嶋 理史	相模原市立小中学校 PTA 連絡協議会		欠席
4	小関 和代	相模原市立小中学校 PTA 連絡協議会		出席
5	堺 千里	相模原市立小中学校 PTA 連絡協議会		出席
6	水野谷 珠世	相模原市立小中学校 PTA 連絡協議会		出席
7	高原 麻美	相模原市立小中学校 PTA 連絡協議会		出席
8	黒瀧 直行	新町中学校	副会長	出席
9	北村 正弘	青野原中学校		出席
10	小泉 勉	旭中学校		出席
11	山本 真	相武台中学校		出席
12	朴木 昇	弥栄中学校		出席
13	高橋 純子	城山学校給食センター		欠席
14	高橋 陽子	公募		出席